

健康づくり・子育て



健康づくり



子育て情報

ミニドック検診・レディース検診を受診ください

ミニドック検診では、基本健診のほか、胃がんや大腸がんなどの検査を受けることができます。また、レディース検診では、子宮がんや乳がんなどの検査を受けることができます。

受診を希望される方は、お早めに申込みください。

【ミニドック検診】

日程と場所

午前6時～

- 6月16日(金) 保健センター
- 6月17日(土) 保健センター
- 6月18日(日) 保健センター
- 6月19日(月) 札幌センター
- 6月20日(火) 緑センター

【レディース検診】

日程と場所

午前9時～午後1時

- 7月6日(木) 札幌センター
- 7月7日(金) 保健センター
- 7月7日分の乳がん検診は、定員の80人を越えたため申込みを止め切りました。

詳細と申込先 保健福祉課保健係
(保健センター内)

電話 25 3850

たんぽぽ広場の日程をお知らせします

子育て中の皆さんが集まり、お子さんと楽しく遊ぶ交流の場です。申込みは必要ありませんのでお気軽にお越しください。

日時と内容 午前10時～

- 6月7日(水) 講座(子育てなんでも相談)
- 6月14日(水) 親子遊び
- 6月21日(水) 親子遊び
- 6月28日(水) 親子遊び(小麦粉粘土)

場所 保健センター健康ホール

妊婦健診の日程をお知らせします

妊婦健診では、ご主人も一緒に赤ちゃんの様子を見ることができ、ますので、どうぞご夫婦でお越しください。受診希望の方は前日までにお申込みください。

日時 6月24日(土)午前10時15分～

場所 保健センター
詳細と申込先 保健福祉課保健係
(保健センター内)

電話 25 3850

乳がんの発症件数が増えています

30人に1人以上の方が乳がんを発症

これまで、乳がんは欧米に多く、日本には少ない「がん」とされてきましたが、近年、日本人女性が発症する件数が増加しています。

現在、年間約3万5千人の女性が乳がんと診断されており、これは、日本人女性の30人に1人以上が発症するという発症率の高い病気となっています。また、発症年齢は、日本では40歳～50歳代に多く発症しています。

原因はライフスタイルの変化

がんの増加の原因として考えられるのが、ライフスタイルの変化で、食生活の欧米化により、日本人の体格や体質が欧米人に近づき、早い初潮や遅い閉経、肥満になったことなどが考えられています。また、社会変化により、出産経験のない方、35歳以上で初めて出産する方が増えていますが、こうした変化も乳がん増加の原因の一つと考えられています。

治療法が大きく変わってきている

のように増加が心配される乳がんですが、幸いなことに治療法も進歩しています。かつては広い範囲で乳房を切除する方法が標準的な治療法でしたが、近年では、乳がんを早期に発見することで、乳房の部分的な切除や抗がん剤・ホルモン剤による薬物療法、放射線療法など、さまざまな治療を組み合わせ治療を行い、乳房をできるだけ温存してQOL(生活

の質)の維持を重視する方向に治療が変わってきています。

乳がん検診が重要です

がん治療法の変化を可能にしたのは、乳がんが早期発見できるようになったからです。早期発見できることにより、生存率が高くなるのはもちろん、がんの侵食が進んでいないため小さな手術で済ませることができ、これが乳房を温存できる可能性を高くすることにつながっています。乳がんを早期発見するためにも、自覚症状のない段階で発見する「乳がん検診」を受診することが大切です。

乳がん危険度チェック

- 1 初潮が12歳以前である
- 2 出産経験がない
- 3 35歳以上で初めての子を産んだ
- 4 閉経は50歳以降である
- 5 母親、姉妹、祖母に乳がんになった人がいる
- 6 女性ホルモン剤を使用したことがある
- 7 乳腺疾患(乳腺腫、乳腺炎など)と診断されたことがある
- 8 肥満である(閉経後)
- 9 乳がん検診を受けたことがない

チェック項目が多いほど危険度が高いということです。積極的に検診を受けてください。

この記事に関するお問い合わせは、保健福祉課保健係(保健センター内)までご連絡ください。

電話 25 3850 FAX 25 2137